

6月定例町議会の日程

- 5月30日(木) 一般質問/切り
- 6月6日(木) 開会 本会議
議員の一般質問
- 7日(金) 本会議(予定)
- 10日(月) 総務建設常任委員会
- 11日(火) 文教厚生常任委員会
- 19日(水) 閉会 本会議

※本会議・常任委員会はいずれも本会議場で行われ、傍聴できます。



23日に議会運営委員会が開かれ、6月定例町議会の日程が決まりましたのでお知らせします。

そして、「ことは国際的批判を呼び起こしている国政上の大問題。すべての政党・政治家がこの問題での見解を明らかにすべきです」と訴えました。

公開討論について、柳氏は「この問題はどう考えるかが、戦後の世界と日本のあり方にかかわる大問題。単に橋下市長と『維新の会』の認識だけではなく、安倍内閣による歴史認識の見直しの流れのなかでの発言でもあり、各党による公開討論をぜひ実現したい」と表明しました。

党府委員会はこの日、各政党に公開討論を申し入れました。



(写真) 記者会見する(右から)柳、たつみ、太田の各氏=20日、大阪府庁内

橋下暴言「撤回、公職辞任を」 党大阪府委・たつみコータローが 各党に公開討論呼びかけ

「日本維新の会」共同代表の橋下徹大阪市長が「慰安婦は必要」と暴言を吐いた問題で、日本共産党大阪府委員会と、たつみコータロー参院大阪選挙区予定候補は20日、府庁内で記者会見し、暴言の撤回・謝罪、さもなくばすべての公職から辞任せよとの見解を発表しました。さらに、この問題で各政党に公開討論をよびかけました。

柳利昭書記長と太田いつみ副委員長が出席し、たつみ氏が報告しました。橋下氏が自らの発言には謝罪も撤回もせず、見苦しい居直りを続けているが、発言の中心問題は「女性の人権を根本からじゅうりんし、人間の尊厳そのものを冒す国際的な戦争犯罪が『必要だった』としたことだ」と強調。「市長、政党代表にあるまじき発言であり、人間としての血が通っているのかさえ疑わしいものです」としています。

「小川ゆうじの読者だより」

小川・吉開 検索

田尻町支部党活動募金
1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時〜正午
465-9939

5月の弁護士相談は
10日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要です

風疹予防接種ワクチンが全額助成されます

(田尻町HPから転載)

- <対象者>
田尻町に住民登録を有する、接種時19歳以上の下記に該当する方
- 妊娠を希望する女性
 - 妊婦の配偶者
- ※但し、下記の方は除きます
- 妊婦
 - 風しんにかかったことが確実な方
 - 風しん及び麻しん風しん混合(MR)の予防接種を2回接種済みの方
- <実施期間>
平成25年5月13日(月)から平成25年9月30日(月)
- <実施回数> 1人につき1回
- <実費負担>
無料(医療機関で接種費用を支払った後に、
田尻町健康課に申請してください)
- <医療機関> 指定医療機関はありません。



- <接種方法>
事前に医療機関に予約を行ってください。
- ・予防接種後に、接種内容(被接種者名・予防接種名・接種日・支払金額・医療機関名)のわかるもの(領収書等)を医療機関から必ず受け取ってください。
- <申請方法>
申請受付期間 平成25年6月3日(月)~平成25年10月31日(木)
予防接種後に、田尻町健康課(たじりふれ愛センター)に申請してください。
- [申請に必要なもの]
- ・氏名、住所、年齢が確認できるもの(健康保険証、運転免許証等)
 - ・接種内容(被接種者名・予防接種名・接種日・支払金額・医療機関名)のわかるもの(領収書等)
 - ・振込口座がわかる通帳(被接種者名義)及び印鑑
 - ・妊婦の配偶者は、母子健康手帳
- <注意事項> ○ワクチン接種後は2か月間の避妊が必要です。
○実施期間以外の接種は、助成の対象になりません。